


○提案内容

(1)実現したい都市のビジョン

～グランドデザインに下記のように記載～



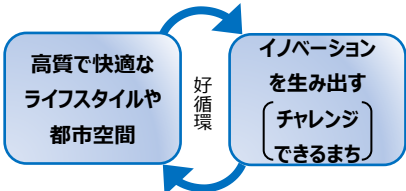
FUKUOKA Smart EAST

少子高齢化など、まちづくりの様々な課題を解決しながら、持続的に発展していくため、最先端の技術革新の導入などによる、快適で質の高いライフスタイルと都市空間を創出し、未来に誇れるモデル都市「FUKUOKA Smart EAST」を創造していく。

まずは、その先駆けとして、箱崎のまちづくりにおいて取組み、それが全市に広がり、さらに市を超え、より多くの人々に届くよう進めていく。

【まちづくりの基本的な考え方】

- 九州大学が百年存在した地としてのブランドと、広大な敷地や交通といった強みを活かし、働く人や学ぶ人、住む人、訪れる人などこれまで以上に幅広い人々が集まり、イノベーションを生み出す新たな拠点を創出する。
- 千年以上に渡る箱崎の歴史や文化も踏まえながら、新たな拠点の創出に向け、イノベーションを生み出すチャレンジできるまちと、幅広い人々を惹きつける高質で快適なライフスタイルや都市空間づくりに取り組み、未来に誇れるまちを創造していく。



(2)新技術の導入により解決したい都市の課題
 ※課題については、別紙3の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください(複数ある場合は、課題ごとに対応を記載ください)

解決する課題のイメージ	課題の分類
-------------	-------

～グランドデザインに下記のように分野別サービス例を記載～

- | | |
|--------------|----------------|
| ① 移動(モビリティ) | ⑦ 物流(ロジスティクス) |
| ② 健康(ウェルネス) | ⑧ 教育(エデュケーション) |
| ③ 共有(シェアリング) | ⑨ 労働(ワーキング) |
| ④ 生活(リビング) | ⑩ エネルギー |
| ⑤ 買物(ショッピング) | ⑪ 安全(セキュリティ) |
| ⑥ 製造(メーカーズ) | |

(3) 具体的に導入したい技術(既に想定しているものがある場合)

～ランドデザインに下記のように分野別サービス例のイメージ概要を記載～

- ①移動(モビリティ)・・・自動運転のコミュニティバスや歩行を支援するパーソナルモビリティ等が、高齢者や障がいがある交通弱者の移動をサポートする
自動運転のコミュニティバス内において、乗客などのトラブルを感知し、自動で注意を呼びかけ、同時に遠隔監視者に通知する
車内の映像・音を遠隔から確認することができ、緊急時は乗客と運行管理者で会話ができる
- ②健康(ウェルネス)・・・IoT端末により、子どもや高齢者の見守りなどを行う
- ③共有(シェアリング)・・・歩道空間などを活用し、オープンカフェテラスなどとして利用する
公園などを活用し、スポーツイベントやフードフェスなどに利用する
放課後の学校施設などを活用し、地域のいろいろな世代の学び舎などとして利用する

(4) 解決の方向性(イメージでも可)

～ランドデザインに下記のように分野別サービス例のイメージの期待される効果を記載～

- ①移動(モビリティ)・・・高齢者や障がいがある交通弱者でも、安全で快適に移動できる
自動運転技術により、運転手の負担が軽減されるだけでなく、乗客の安全性も向上する
- ②健康(ウェルネス)・・・見守りなどのサポートにより、安心に暮らせる
- ③共有(シェアリング)・・・様々な活動においてあらゆる公共空間等を利用でき、豊かな暮らしが送れる

(5) その他

～ランドデザインに下記のように記載～

・まずは、その先駆けとして、箱崎のまちづくりにおいて取組み、それが全市に広がり、さらに市を超え、より多くの人々に届くよう進めていく

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
住宅都市局跡地活用推進部	田代 徹也 中武 聖	092-711-4088	tashiro.t04@city.fukuoka.lg.jp nakatake.s01@city.fukuoka.lg.jp

■統合移転事業と取組み内容

【九州大学統合移転事業】



平成3年10月に福岡市西区元岡・桑原地区への移転を決定（箱崎・六本松・原町地区の売却費を、伊都キャンパス整備費へ充当）



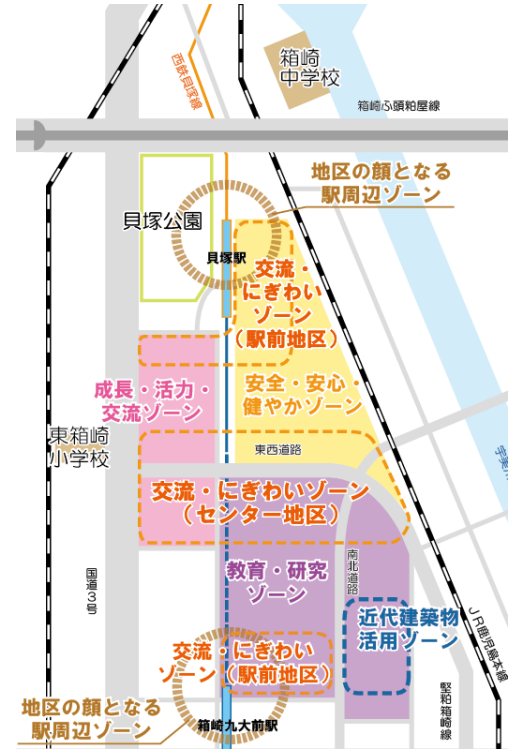
【上位計画】（第9次福岡市基本計画）



- 地域拠点（箱崎等）
商業機能やサービス機能など諸機能が集積した地区
- 機能を充実・転換する地区（九州大学箱崎キャンパス）
市街地内の貴重な大規模活用可能地として、大学の移転進捗を踏まえ、新たな都市機能の導入などを検討する地区

【跡地利用計画【H27.3策定】】（九州大学・福岡市）

■土地利用の方針



■都市基盤の整備手法・主体等

都市基盤の整備範囲（案）



北エリア（約20ha）
『福岡市』による『土地区画整理事業』
○貝塚駅周辺を含む脆弱な都市基盤の解消および交通結節機能の強化（駅前広場整備、東西方向の連絡性向上など）
○箱崎中学校移転跡地の活用
○市有地や公共施設が多い中で市の主体的な関与

南エリア（約30ha）
『UR都市機構』による『開発行為』
○九州大学は、迅速な都市基盤整備が可能な事業者として、URを選定
『福岡市』は、『UR』による都市計画道路等の『直接施行制度』を活用

■公共施設配置計画

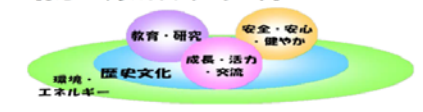


【跡地利用将来ビジョン【H25.2策定】】
（検討委員会が九州大学総長・福岡市長へ提言）

■まちづくりの方針

- 方針1** 福岡市の持続的な成長に資する
新たな活力・交流を生み出す
（例）広域行政機能 東京圏バックアップ機能
成長・活力・交流
- 方針2** 九州大学が存在した地として、
充実した教育・研究の環境を生みだし、
人を育てる
（例）教育・人材育成機能
教育・研究
- 方針3** 高度医療施設の立地や高い利便性を生かして、
安全・安心・快適で健やかに暮らす
（例）防災機能 医療・福祉機能
安全・安心・健やか
- 方針4** 千年のまち、大学百年の歴史文化資源を大切に
する
（例）近代建築物の保存活用（または記録保存）
歴史文化
- 方針5** 次世代の環境技術と豊かな緑を生かして、
環境と共生し、持続可能なまちをつくる
（例）エネルギーマネジメントの導入
環境・エネルギー

【まちづくり方針のキーワード】



■土地処分スケジュールの見通し

年度	～2017（～H29）	2018（H30）	2019（H31）	2020	2021	2022	2023	2024～
主な手続き	基本協定締結（市九大UR）	まちづくりの具体化 伊都地区への移転完了（2018秋）	グランドデザイン策定（2018.7）	都市計画（用途地域など）の変更 公募要項に反映 公募	設計など 公募	引渡	引渡	引渡
まちづくりの先進的な取り組み		FUKUOKA Smart EASTに向けた取り組み						
都市基盤整備			都市計画決定	【都市計画道路等の整備】				
する調査等	九大が実施する調査等	建物解体 埋蔵文化財発掘調査 土壌汚染対策法に基づく調査 など	環境アセスの手続き	【開発行為】	【土地区画整理事業】	都市計画（土地区画整理事業区域など）の決定		

※現時点での予定であり、今後の検討により変更の可能性がります

【まちづくりの方向性】

跡地利用
将来ビジョン

跡地利用計画

FUKUOKA Smart EAST

少子高齢化など、まちづくりの様々な課題を解決しながら、持続的に発展していくため、最先端の技術革新の導入などによる、快適で質の高いライフスタイルと都市空間を創出し、未来に誇れるモデル都市「FUKUOKA Smart EAST」を創造していく。

まずは、その先駆けとして、箱崎のまちづくりにおいて取組み、それが全市に広がり、さらに市を超え、より多くの人々に届くよう進めていく。

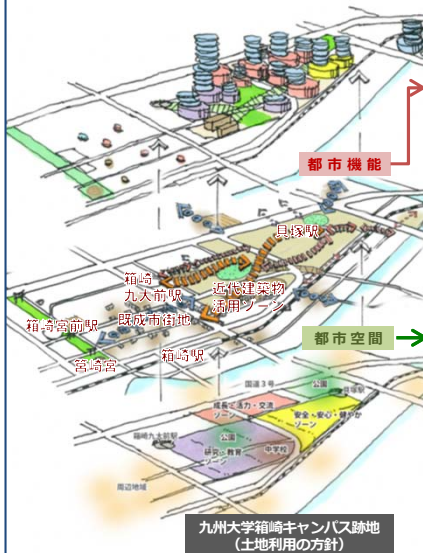
グランドデザイン

【まちづくりの基本的な考え方】

- 九州大学が百年存在した地としてのブランドと、広大な敷地や交通といった強みを活かし、働く人や学ぶ人、住む人、訪れる人などこれまで以上に幅広い人々が集まり、イノベーションを生み出す新たな拠点を創出する。
- 千年以上に渡る箱崎の歴史や文化も踏まえながら、新たな拠点の創出に向け、イノベーションを生み出すチャレンジできるまちと、幅広い人々を惹きつける高質で快適なライフスタイルや都市空間づくりに取り組み、未来に誇れるまちを創造していく。



【まちづくりの基本的な考え方】



- 都市機能**
 - 「土地利用の方針」を踏まえながら、新たな拠点を創出するため、平面・立体・複合的につながる多様な都市機能の誘導を図る。
- 都市空間**
 - ここ箱崎だからこそできるまちづくりに向け、まち全体の一体感を創出する空間整備や景観の誘導を図る。
 - 安全・安心・快適で健やかな暮らしを創出するため、憩いや安心を感じることができるオープンスペースや歩行者の骨格動線となる「歩の軸」など、ゆとりある空間整備の誘導を図る。
 - 周辺地域との一体的な発展を目指し、箱崎千年の歴史に育まれた文化や関係性を大切にし、周辺地域との調和・連携・交流を図る。
 - 九州大学の地に存在する歴史的資源と縁を活かし、その面影や記憶を継承する。

環境共生

- 循環型社会の形成やエネルギーの有効活用、環境技術の活用など、環境と共生した持続可能なまちの形成を目指す。

マネジメント

- 百年後の未来に誇れるまちづくりに向け、持続・発展していくための、マネジメントの仕組みづくりを目指す。

FUKUOKA Smart EAST

FUKUOKA Smart EAST

■分野別サービス例

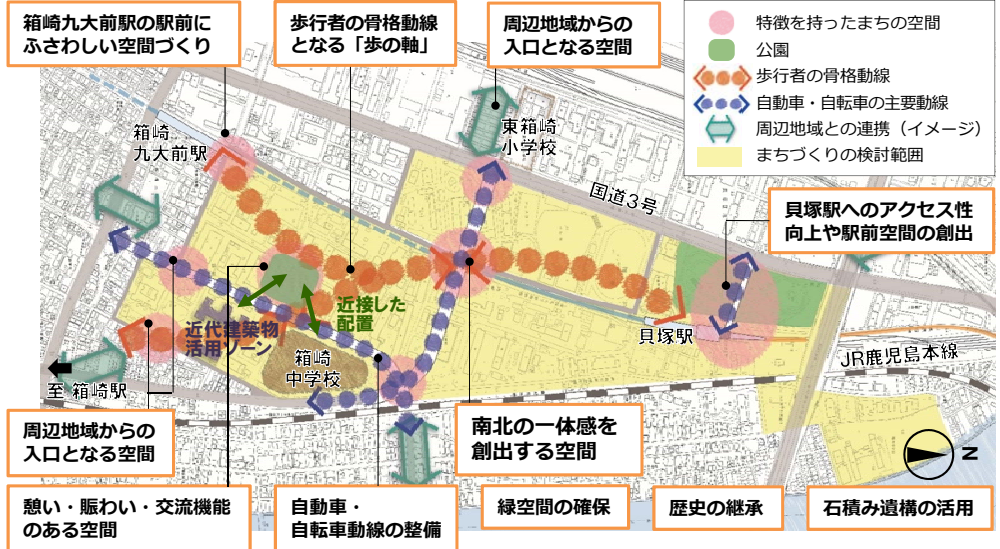
- | | |
|-------------|---------------|
| ①移動(モビリティ) | ⑦物流(ロジスティクス) |
| ②健康(ウェルネス) | ⑧教育(エデュケーション) |
| ③共有(シェアリング) | ⑨労働(ワーキング) |
| ④生活(リビング) | ⑩エネルギー |
| ⑤買物(ショッピング) | ⑪安全(セキュリティ) |
| ⑥製造(メーカーズ) | |

■分野別サービスのイメージ例



今後、箱崎へ導入可能なサービスを検討

【都市空間整備の考え方】



【都市機能配置の方向性】

